

初の女性社長、店長誕生

西の丸グループ

「女性社員に希望持たせたい」

遊技業などを展開する西の丸グループ（本社・門川町、従業員約300人、西谷淳・西の丸代表取締役社長）は1日付で、サンクスギビングの代表取締役社長に森下艶子氏（72）、西の丸・延岡店の

店長に田中和美氏（43）を充てる人事改革を行った。女性社長、女性店長の誕生は同グループでは初めて。「多くの女性社員に希望を持たせたい」と41期目のスタートに合わせ発表した。

創業メンバーの一人である森下氏は西の丸総務部課長から昇格、田中氏は日の丸産業・サンクス恵比須店チーフから昇格。2人は「後に続く女性社員の励みとなるよう頑張らせてもらいたい」

と話している。同グループによると、遊技業界は射幸性の強さから、頑強な男性店長でなければ務まらない時代も長くあったものの、暴力団排除条例の施行や、のめり込み問題への対策推進など、警察の指導と業界の努力により、近年は健全な娯楽産業に生まれ変わり、女性客の増加にもつながっているという。



サンクスギビング代表取締役社長に就任した森下氏



西の丸・延岡店店長に就任した田中氏